

題材系統表

題材は、五つの分野で構成され、活動のねらい、発想のきっかけ、使用する材料や用具などを考慮し、発達の段階とともに学びを深めることができるよう、系統的に配列されています。

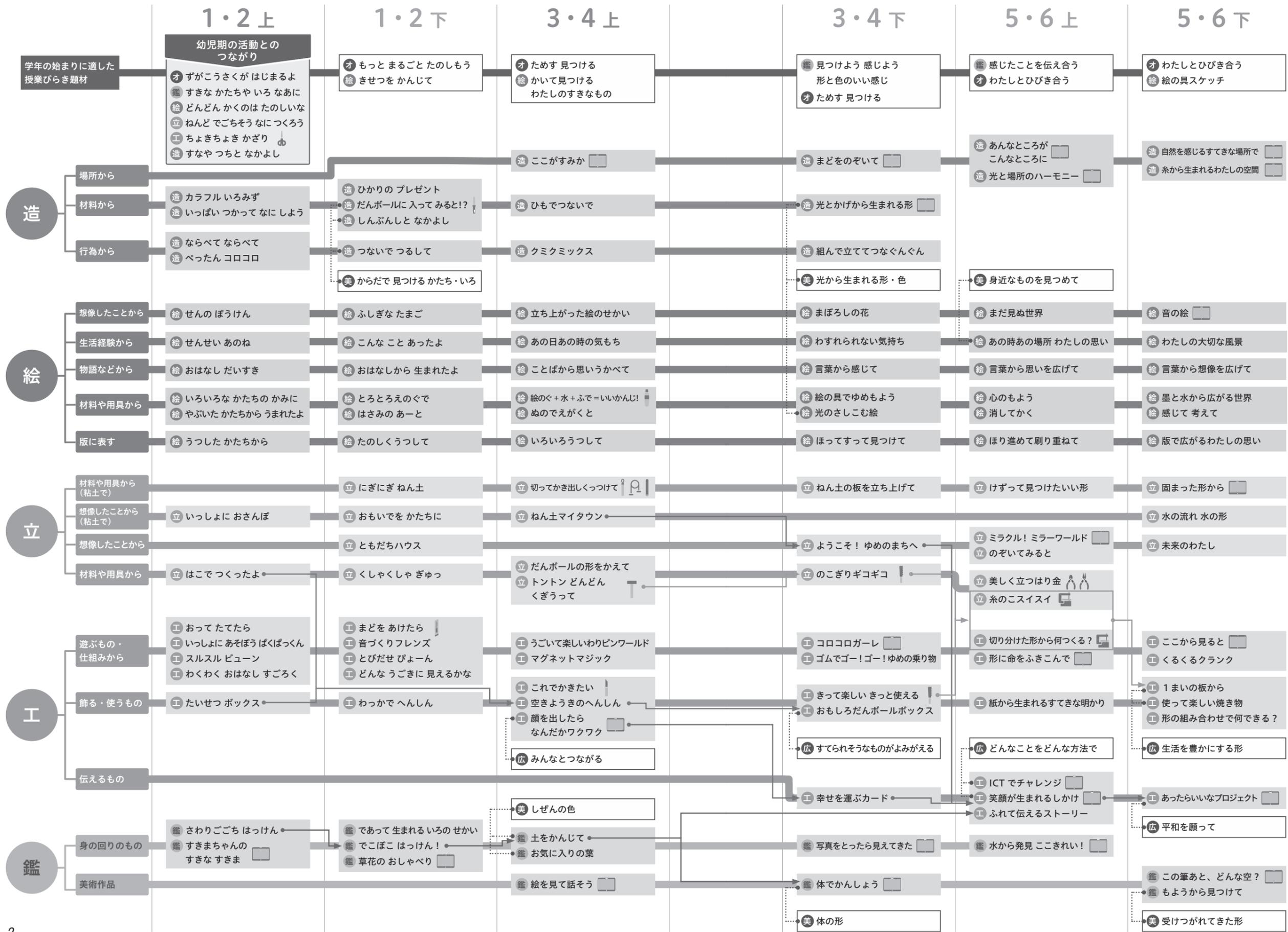
- 造 — 造形遊びをする活動
- 工 — 工作に表す活動
- オ — オリエンテーション
- 絵 — 絵に表す活動
- 鑑 — 鑑賞する活動
- 美 — 教科書美術館
- 立 — 立体に表す活動
- 広 — 広がる図工

各用具アイコン：用具に出会い試したことをもとに活動する題材

ICT活用

- つながる学び
 - 触るなど行為性
 - アップサイクル
 - 木材の加工
 - 他者と喜びを分かち合う思い
 - 特設ページとの関連性

表現の題材は鑑賞活動と適宜関連して学習できるように、めあてを設定しています。



題材別カリキュラム

各項目の説明

題材別カリキュラム表は以下の内容で構成されています。

各項目の名称	概要
学年	1・2上～5・6下まで、該当する巻を示しています。
ページ	教科書の掲載ページを示しています。
分野	㉔（造形遊びをする）、㉕（絵に表す）、㉖（立体に表す）、㉗（工作に表す）、㉘（鑑賞する）のいずれかで示しています。 表現の題材においては、原則としてすべて鑑賞する活動と関連する形で示しています。
系統	本冊子 p.2-3 に示している系統を示しています。
題材名	教科書の題材名を示しています。教科書紙面において複数の展開例を示しているものは、展開例ごとに示しています。 例) 1・2上 どんどん かくのは たのしいな ～すきな もの なあに～ ～おひさま にここに～
時数	題材を実施する際の参考時数を示しています（1時間＝45分）。この枠に収めなければいけないということではありません。学校や児童の実態に合わせてご検討ください。
育てたい子どもの姿	「学びに向かう力、人間性等」の個人内評価とする部分や、日本文教出版株式会社が教科書で大切にしていること（体感、自己肯定感の向上、多様性の理解 など）と関連させ、各題材を通して児童に感じたり考えたりしてほしいことを示しています。
題材の目標	各題材の目標を、学習指導要領解説に示されている指導する事項と『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（国立教育政策研究所）に基づき、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3観点で示しています。 「知識及び技能」の示し方について ・目標をより分かりやすく示すため、また〔共通事項〕（1）アを明確に示すため、「知識」㉔と「技能」㉕の2項目に分けて示しています。 ・「技能」において示している材料・用具は教科書紙面に基づくものです。実際に使用する材料や用具に合わせて（中学年以降においては児童の経験を踏まえて）適宜設定してください。 「思考力、判断力、表現力等」の示し方について ・〔共通事項〕（1）イを明確に示すため、イメージに関する目標㉖をすべての題材において示しています。 ・各題材において表現と鑑賞の一体化を図るため、「発想や構想」（表現における「思考力、判断力、表現力等」）㉗に関するものと、「鑑賞」（鑑賞における「思考力、判断力、表現力等」）㉘の2項目を示しています。 ・一部の鑑賞の題材においては、表現と関連して指導する場合に配慮し、「発想や構想」（表現における「思考力、判断力、表現力等」）も示しています。 1・2上巻での「スタート題材」や各巻オリエンテーション題材（授業開き題材）の紙面には、一部の「学習のめあて」のみを示していますが、本資料ではすべての観点を示しています。 ◎＝重点化するめあて（幼小接続題材）
評価規準の例	『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（国立教育政策研究所）を参考に「題材の目標」と対応する形で示しています。 各観点ごとに「おおむね満足できる」状況（B）について示しています。 ※評価の考え方については、教師用指導書「指導解説編」もあわせてご参考ください。
主な学習内容	児童の活動を中心とした授業の流れを示しています。
主な材料・用具	授業に必要な材料や用具を、教師、児童それぞれが準備するものとして示しています。学校や学級の実態に応じて、教師、児童いずれが準備するのをご検討ください。 ここで示していないものであっても、活動をより広げるために用意しておいてもよい材料や用具に関しては、教師用指導書「朱書編」でご確認ください。
関連	幼児期／中学校といった校種間の関連、他教科等との関連、他の題材や教科書における題材ページ以外との関連などを示しています。 関連は一例であり、他にも多様な関連が考えられます。校種間接続や、カリキュラムマネジメントの視点からご参考ください。

p.6-7 かいて見つけるわたしのすきなもの 材料や用具から ★授業びらき題材 2～4 ⑩・⑪				
題材の目標				
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
⑩身の回りのものを見たり好きなものを思い浮かべたりして、試しながら表すときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、組合せによる感じなどが分かる。 ⑪前学年までのクレヨンやパス、色鉛筆などについての経験を生かし、手や体全体の感覚を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	⑩表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ⑪形や色の感じ、組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 ----- 【鑑賞する活動を関連付けて指導する場合】 ⑫自分たちの作品や製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。	・進んで表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりしながら表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)	主な学習内容	主な材料・用具		
何度も試したり、いろいろなことを思い浮かべたりしながら、自分の好きなものを見付けることを楽しむ子ども。	○クレヨン・パスなどの経験について振り返る。 ○表し方を試したり、自分の好きなものや楽しみなことを思い浮かべたりして絵にかく活動に意欲をもつ。 ○これまでの経験を生かしながらかく。 ○互いの作品を見合い、よさを味わう。	教師・児童：新聞紙、ペン、ティッシュペーパー、古布 など 教師：画用紙、割り箸、竹串 など 児童：クレヨン・パス、色鉛筆、手拭きタオル など		
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
身の回りのものを見たり好きなものを思い浮かべたりして、試しながら表すときの感覚や行為を通して、形や色の感じ、組合せによる感じなどが分かっている。	前学年までのクレヨンやパス、色鉛筆などについての経験を生かし、手や体全体の感覚を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色の感じ、組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	【鑑賞する活動を関連付けて指導する場合】 形や色の感じ、組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品や製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで表し方を試したり、好きなことを思い浮かべたりしながら表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
道徳：A 個性の伸長				

p.8-9 切っかき出しくっつけて 材料や用具から (粘土で) 2～4 ⑫・⑬				
題材の目標				
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
⑫切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 ⑬切り糸、かきべらを適切に扱うとともに、前学年までの粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。	⑫粘土を切ったりかき出したりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ⑬自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ⑭形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。	・進んで切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)	主な学習内容	主な材料・用具		
用具を使うことでできる表現があることに気づき、そのよさを生かしながらかつくりだそうとする子ども。	○用具の基本的な扱いについて知り、使うことに興味をもつ。 ○用具を使ってできることをいろいろと試しながら表したいことを見付ける。 ○できた形を組み合わせたり、手や用具でさらに形を変えたりしながら表現を深める。 ○友人と互いの作品を見合って、用具の使い方の違いや、表現の面白さを味わう。	教師・児童：粘土板、雑巾、新聞紙、歯ブラシ など 教師：土粘土、切り糸、かきべら など 児童：粘土べら など		
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	切り糸、かきべらを適切に扱うとともに、前学年までの粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、粘土を切ったりかき出したりして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで切り糸やかきべらを使って粘土の形を変えながら、思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		

p.10-11 絵のぐ+水+ふで=いいかんじ！ 材料や用具から 2～4 絵・鑑				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊸水彩絵の具と水でいろいろな色をつくったり筆を使ったりするときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 ㊹水彩絵の具を適切に扱うとともに、共用の絵の具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊸色づくりや表し方を試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊹自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊺色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで水彩絵の具と水と筆を使って試しながら、思い付いたことを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
自分が「いい感じ」と思う色、形、表し方を見付けてかく楽しさを味わい、自分の思いをもつことに喜びを感じる子ども。		○水彩絵の具の基本的な使い方を知る。 ○絵の具と水を使っていろいろな色をつくったり、筆の使い方を工夫したりして、表し方を試す。 ○思いのままにかくことや感覚を通して自分の色や形を見付け、表したいことを考える。 ○思いに合わせて表し方を工夫する。 ○自分や友人の表現した色や形のよさや面白さについて話し合う。		教師：画用紙 など 児童：水彩用具一式 など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
水彩絵の具と水でいろいろな色をつくったり筆を使ったりするときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、共用の絵の具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、色づくりや表し方を試して感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで水彩絵の具と水と筆を使って試しながら、思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		

p.12-13 うごいて楽しいわりピンワールド 遊ぶもの・仕組みから 4～6 工・鑑				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊸割りピンを使って組み合わせた形の動きから思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ㊹割りピンや色画用紙などを適切に扱うとともに、前学年まではさみ、カッターナイフ、接着剤、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊸割りピンを使って形を動かしながら感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊹動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊺形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで割りピンを使って組み合わせた形の動きから思い付いたものを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
簡単な仕組みを使って、動きの感じに合う形や色を考えたり、試しながらつくりたいものを考えたり、楽しく想像を広げることに関心をもつ子ども。		○割りピンを使って形を動かす仕組みを知り、活動に興味をもつ。 ○つくった仕組みを動かしながら表したいことを考える。 ○思いに合わせて材料や用具を選び、工夫して表す。 ○動かしながら友人と互いの作品を見合い、よさや面白さを感じ取る。		教師：色画用紙、工作用紙、割りピン、画紙や目打ち、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤 など 児童：はさみ、のり、色鉛筆、ペン など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
割りピンを使って組み合わせた形の動きから思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	割りピンや色画用紙などを適切に扱うとともに、前学年まではさみ、カッターナイフ、接着剤、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、割りピンを使って形を動かしながら感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、動かすなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで割りピンを使って組み合わせた形の動きから思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		

p.14-15 ひもでつないで 材料から 2～4 ④・⑤				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊸身近な場所でひもをつないだり結んだりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。 ㊹ひもを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切つてつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。		㊸ひもや活動する場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 ㊹ひもをつないでできる形や色、場所の感じなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ④形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		・進んでひもをつないだり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
ひものような細い材料でも工夫すれば自分たちの力で場所の感じを変えていくことができることに喜びを感じる子ども。		○広い空間でひもをつないで場所の様子を変える活動に興味をもつ。 ○ひものつなぎ方や結び方を工夫していろいろな場所にひもを結ぶ。 ○場所にあるものを使ったり、友人と協力するなどして、活動を深める。 ○外から見たり、中に入ったりしながら、自分たちがつくったものや変化した場所の様子を味わう。		教師・児童：毛糸、リボン など 児童：はさみ など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
身近な場所でひもをつないだり結んだりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。	ひもを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切つてつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してついている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、ひもや活動する場所などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、ひもをつないでできる形や色、場所の感じなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでひもをつないだり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
道徳：B 友情、信頼				

p.16-17 立ち上がった絵のせかい 想像したことから 4～6 ⑥・⑦				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊸立たせた紙の表と裏の関係から思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ㊹水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までのクレヨン・パス、はさみなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊸立たせた紙や、表と裏の関係から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊹自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ⑦形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで立たせた紙の表と裏の関係から思い付いたことを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
紙を立たせると画面を見られるように、使い慣れたものでも新しい使い方があることを知り、そこから新しい発想が生まれることを楽しむ子ども。		○紙を立たせると、表と裏の二つの世界を表せることを知る。 ○いろいろな紙の立たせ方を試し、イメージを広げる。 ○思い付いた世界を表していく。 ○友人と互いの作品を見合い、よさを味わう。		教師：画用紙、色画用紙、木工用接着剤、化学接着剤、ペン など 児童：水彩用具一式、クレヨン・パス、はさみ、のり など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
立たせた紙の表と裏の関係から思い付いたことを表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までのクレヨン・パス、はさみなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、立たせた紙や、表と裏の関係から感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで立たせた紙の表と裏の関係から思い付いたことを表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		

p.18-19 空きようきのへんしん 飾る・使うもの 4～6 ㊦・㊧				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
<p>㊦生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かる。</p> <p>㊧空き容器、水彩絵の具などを適切に扱うとともに、前学年までの紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</p>		<p>㊦使う様子を想像したり材料を組み合わせで感じたりしたことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。</p> <p>㊧実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <p>㊦形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。</p>		<p>・進んで生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
<p>自分の生活を基に発想し、身の回りのものを組み合わせながら、生活を豊かに楽しくするものをつくることに喜びを感じる子ども。</p>		<p>○家で使いたい小物入れなどについて、どのようなものを入れたいか、どこで使いたいかななどを発表し合う。</p> <p>○空き容器の形を変えたり組み合わせたりしてつくりたい形を考える。</p> <p>○紙粘土を貼り付けるなどして、思いに合わせた小物入れをつくる。</p> <p>○実際に物を入れるなどしてよさを味わう。</p>		<p>教師・児童：空き容器、身辺材 など</p> <p>教師：紙粘土、粘着テープ、リサイクルばさみ など</p> <p>児童：絵の具、粘土べら など</p>
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
<p>生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かっている。</p>	<p>空き容器、水彩絵の具などを適切に扱うとともに、前学年までの紙粘土についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、使う様子を想像したり材料を組み合わせで感じたりしたことから、表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p>	<p>形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい進んで生活の中で使うものを、空き容器と紙粘土でつくる学習活動に取り組もうとしている。</p>
関連				
他教科等		特設ページ		
<p>SDGs：11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう</p>				

p.20-21 あの日あの時の気持ち 生活経験から 4～8 ㊨・㊩				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
<p>㊨生活の中で心に残ったことを、気持ちを思い出しながら絵に表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。</p> <p>㊩水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までのクレヨン・パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</p>		<p>㊨生活の中で感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。</p> <p>㊩自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <p>㊦形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。</p>		<p>・進んで生活の中で心に残ったことを絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
<p>形や色を工夫することで、感じたことや思ったこと、気持ちに合う表し方ができることを知り、より深く生活を見つめ、楽しさや喜びを味わおうとする子ども。</p>		<p>○生活の中で心に残っていることを思い浮かべ、表したい様子や気持ちに合う形や色などを考える。</p> <p>○表したい様子から、感じたことや思ったこと、気持ちに合う表し方を考え、工夫しながら絵に表す。</p> <p>○友人と互いの絵を見ながら、そのときの感じや気持ちが感じられるところを見付け伝え合う。</p>		<p>教師：画用紙、色画用紙 など</p> <p>児童：水彩用具一式、クレヨン・パス、ペン など</p>
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
<p>生活の中で心に残ったことを、気持ちを思い出しながら絵に表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。</p>	<p>水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までのクレヨン・パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、生活の中で感じたこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい進んで生活の中で心に残ったことを絵に表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
関連				
他教科等		特設ページ		
<p>国語：A 話すこと・聞くこと B 書くこと</p>				

p.22-23 トントん どんどん くぎうって 材料や用具から 2～4 ㊦・㊧				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 ㊧金づちや釘、木切れを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊦釘を打ちながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊧自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊦形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
新しい用具を積極的に使い、全身の感覚を働かせながら、用具を生かした表し方を思い付き、それを楽しむ子ども。		○金づちの扱いや、釘の打ち方などを知り、釘を打つことに興味をもつ。 ○木に釘を打ちながら、できた形を基に表したいことを考える。 ○思いに合わせてさらに釘を打つ。 ○自分たちの作品を紹介し合いながら、よさや面白さについて話し合う。		教師：木切れ、金づち、釘、釘抜き、ペンチ など 児童：水彩用具一式、ペン など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	金づちや釘、木切れを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、釘を打ちながら感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで金づちを使って木に釘を打ち、思い付いたものを表す学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		

p.25-26 土をかんじて 身の回りのもの 2～4 ㊨・(㊩)				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊨土を見たり土に触れたりして造形的なよさや面白さを感じ取る時の感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 ----- 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 ㊩土、木工用接着剤を適切に扱うとともに、前学年までの共用の絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊨いろいろな土の造形的なよさや面白さについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊦色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。 ----- 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 ㊩土の絵の具に触れて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。		・進んで土を見たり土に触れたりしてよさや面白さを感じ取る活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
土の色や触った感じの多様さに気付く、そのよさや面白さを感じながら、大切にしたいと思う子ども。		○学校で土を集めたり、あらかじめ集めた土を見たり、土に触ったりする。 ○ふるいにかけてたり、容器に入れたりしながら、土の色や組合せのよさや面白さを味わう。 ○互いに見せ合いながら、感じたことを伝え合う。 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】 ○土にのりなどを混ぜ、土の絵の具をつくる。 ○指や手、筆などで試しながら表す。		教師・児童：土、雑巾 など 教師：トレー、透明な容器、ふるい、小さいスコップ・シャベル など 児童：汚れてもよい服装 など 【「土の絵のぐをつくってみよう」を実践する場合】 教師：白い板段ボール、洗濯のり、木工用接着剤、共用の絵の具、筆 など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
土を見たり土に触れたりして造形的なよさや面白さを感じ取る時の感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】土、木工用接着剤を適切に扱うとともに、前学年までの共用の絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、土の絵の具に触れて感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	色の感じ、形の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、いろいろな土の造形的なよさや面白さについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで土を見たり土に触れたりしてよさや面白さを感じ取る学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
SDGs：11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう		・しぜんの色 (p.24、29)		

p.27-28 お気に入りの葉 身の回りのもの 2～5 鑑・(絵)				
題材の目標				
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
<p>㊦葉を集めて、その形や色を見るとき の感覚や行為を通して、形の感じ、 色の感じ、それらの組合せによる感 じ、色の明るさなどが分かる。</p> <p>----- 【絵に表す活動を関連付けて指導する 場合】</p> <p>㊦水彩絵の具を適切に扱うとともに、 前学年までのペンなどについての経 験を生かし、手や体全体を十分に働 かせ、表したいことに合わせて表し 方を工夫して表す。</p>	<p>㊦いろいろな葉の造形的なよさや面白さについて、 感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を 広げる。</p> <p>㊦形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、 色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。</p> <p>----- 【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】</p> <p>㊦集めた葉やつくった色から感じたこと、想像した ことから、表したいことを見付け、形や色、材料 などを生かしながら、どのように表すかについて 考える。</p>	<p>・進んで葉を集めて身近な自然の形や 色の面白さを感じ取る活動に取り組 み、つくりだす喜びを味わうととも に、形や色などに関わり楽しく豊か な生活を創造しようとする。</p>		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)	主な学習内容	主な材料・用具		
<p>身近な自然がつくりだす形や色の多様 さに気付く、そのよさや面白さを感じ ながら、大切にしたいと思う子ども。</p>	<p>○外で自分がいいなと思う葉を集める。 ○集めた葉を並べながら、形や色などについて気付 いたことを話し合う。</p> <p>【絵に表す活動を関連付けて指導する場合】</p> <p>○混色していろいろな緑色をつくる。 ○つくった緑色や集めた葉を生かして絵に表す。 ○自分の作品や友人の作品を見て、感じたことを伝 え合う。</p>	<p>教師：画用紙、模造紙、トレー、透明 なシール など 児童：はさみ など</p> <p>【「お気に入りの葉から、感じた色をつ くろう」を実践する場合】 児童：水彩用具一式、ペン など</p>		
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に 取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
<p>葉を集めて、その形や色 を見るとき感覚や行為 を通して、形の感じ、色 の感じ、それらの組合 せによる感じ、色の明 らさなどが分かっている。</p>	<p>【絵に表す活動を関連付 けて指導する場合】 水彩絵の具を適切に扱 うとともに、前学年ま でのペンなどについて の経験を生かし、手や 体全体を十分に働か せ、表したいことに合 わせて表し方を工夫し て表している。</p>	<p>【絵に表す活動を関連付 けて指導する場合】 形の感じ、色の感じ、 それらの組合せによる 感じ、色の明るさを 基に、自分のイメージ をもちながら、集めた 葉やつくった色から感 じたこと、想像したこ とから、表したいこと を見付け、形や色、材 料などを生かしなが ら、どのように表すか について考えている。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、そ れらの組合せによる感 じ、色の明るさを基 に、自分のイメージを もちながら、いろい ろな葉の造形的なよ さや面白さについて、 感じ取ったり考え たりし、自分の見方 や感じ方を広げている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わ い進んで布の形や色 や模様、触った感じ を味わい、試しなが ら絵に表す学習活 動に取り組もうとし ている。</p>
他教科等		関連		特設ページ
理科：B 生命・地球 (1)身の回りの生物		・しぜんの色 (p.24、29)		

p.30-31 めのでえがくと 材料や用具から 2～6 鑑・鑑				
題材の目標				
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
<p>㊦布の形や色や模様、触った感じを味 わい、試しながら表すときの感覚や 行為を通して、形の感じ、色の感じ、 それらの組合せによる感じ、色の明 らさなどが分かる。</p> <p>㊦布や水彩絵の具を適切に扱うととも に、前学年まではさみや接着剤な どについての経験を生かし、手や体 全体を十分に働かせ、表したいこと に合わせて表し方を工夫して表す。</p>	<p>㊦布に触れて感じたこと、想像したこと、見たこと から、表したいことを見付け、形や色、材料など を生かしながら、どのように表すかについて考 える。</p> <p>㊦布や自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表 したいこと、いろいろな表し方などについて、感 じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広 げる。</p> <p>㊦形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、 色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。</p>	<p>・進んで布の形や色や模様、触った感 じを味わい、試しながら絵に表す活 動に取り組み、つくりだす喜びを味 わうとともに、形や色などに関わり 楽しく豊かな生活を創造しようとし る。</p>		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)	主な学習内容	主な材料・用具		
<p>材料の色や模様、形、触った感じや、 組み合わせたり重ねたりして生まれ る感じなどを味わい試しながら、自 分のイメージに合った表し方を模索 する子ども。</p>	<p>○布に触れて、形や色、感触などを 感じ取る。 ○触れた材料から表したいことを考 える。 ○材料を組み合わせたり、用具の使 い方を工夫したりしながら、表現を 深める。 ○表したのを見て題名を考える。 ○友人と互いの作品を紹介し合い ながら、材料の使い方や面白さを 伝え合う。</p>	<p>教師：段ボール、布、木工用接着剤、 刷毛、共用の絵の具 など 児童：はさみ、水彩用具一式 など</p>		
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に 取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
<p>布の形や色や模様、触 った感じを味わい、試 しながら表すときの感 覚や行為を通して、形 の感じ、色の感じ、そ れらの組合せによる感 じ、色の明るさなどが 分かっている。</p>	<p>布や水彩絵の具を適切 に扱うとともに、前学 年まではさみや接着 剤などについての経 験を生かし、手や体 全体を十分に働か せ、表したいことに 合わせて表し方を工 夫して表している。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、そ れらの組合せによる感 じ、色の明るさを基 に、自分のイメージを もちながら、布に触 れて感じたこと、想 像したこと、想像した こと、見たことから、 表したいことを見付 け、形や色、材料な どを生かしなが ら、どのように表す かについて考えてい る。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、そ れらの組合せによる感 じ、色の明るさを基 に、自分のイメージを もちながら、布や自 分たちの作品の造形 的なよさや面白さ、 表したいこと、いろ いろな表し方など について、感じ取 ったり考えたりし、 自分の見方や感じ 方を広げている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わ い進んで布の形や色 や模様、触った感じ を味わい、試しなが ら絵に表す学習活 動に取り組もうとし ている。</p>
他教科等		関連		特設ページ

p.32-33 ここがすみか 場所から 2～4 通・鑑				
題材の目標				
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
<p>㊦想像を広げて、学校にある隅を自然材を使ってつくりかえるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かる。</p> <p>㊧自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。</p>	<p>㊨学校にある隅や自然材の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。</p> <p>㊩自分たちの製作の過程、つくったものなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <p>㊪形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。</p>	<p>・進んで想像を広げて場所を自然材を使ってつくりかえる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		
場所の特徴に着目して自らの想像を膨らませるとともに、自然の材料を生かしながらイメージを形にしていこうことを楽しんだり味わったりする子ども。		<p>○学校にある隅から想像を広げてつくる活動に関心をもち、</p> <p>○隅を探し、活動場所を考える。</p> <p>○自然材を使って場所をつくりかえる。</p> <p>○互いのつくったものを見合い、感じたことを伝え合う。</p>		
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
想像を広げて、学校にある隅を自然材を使ってつくりかえるときの感覚や行為を通して、形や色の組合せによる感じなどが分かっている。	自然材を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してついている。	形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、学校にある隅や自然材の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形や色の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの製作の過程、つくったものなどの造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで想像を広げて場所を自然材を使ってつくりかえる学習活動に取り組もうとしている。
他教科等		関連		特設ページ
SDGs：11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう				

p.36-37 これでかきたい 飾る・使うもの 2～4 工・鑑				
題材の目標				
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
<p>㊫身近な材料を触ったり組み合わせたりして筆やペンをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じなどが分かる。</p> <p>㊬枝などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</p>	<p>㊭材料を触って感じたことや、試してかいた形を見たりすることから表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。</p> <p>㊮実際に使うなどして、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <p>㊯形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。</p>	<p>・進んで材料を組み合わせでつくったり、かき心地を試したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>		
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
身近な材料を組み合わせで自分で使うものを自分でつくり、使うことに喜びを感じる子ども。		<p>○身近な材料に触れ、触り心地のよさや違いなどを味わう。</p> <p>○材料を組み合わせでつくる。</p> <p>○かき味を確かめながら、つくりかえていく。</p> <p>○完成した筆や、かいた線などを見合う。</p>		<p>教師：枝、身辺材、雑巾</p> <p>教師：木工用接着剤、化学接着剤、新聞紙、共用の絵の具、画用紙など</p> <p>児童：はさみ</p>
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
身近な材料を触ったり組み合わせたりして筆やペンをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	枝などを適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、材料を触って感じたことや、試してかいた形を見たことから表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで材料を組み合わせでつくったり、かき心地を試したりする学習活動に取り組もうとしている。
他教科等		関連		特設ページ
		・手と道ぐ (p.34-35)		

p.36-37 これでかきたい 飾・使うもの ①・②				
～小刀をつかって～ 2～4				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㉞木を削ったり身近な材料を組み合わせたたりして筆やペンをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ㉟小刀を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㉞材料を削って感じたことや、試してかいた形を見たことから表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㉟実際に使うなどして、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊱形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで木を削ってついたり、かき心地を試したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
木を削ったり身近な材料を組み合わせたたりして自分で使うものを自分でつくり、使うことに喜びを感じる子ども。		○小刀の使い方を知る。 ○小刀を使って枝を削ったり、材料を組み合わせたたりしてつくる。 ○かき味を確かめながら、つくりかえていく。 ○完成した筆や、かいた線などを見合う。		教師・児童：枝、身辺材、雑巾 など 教師：小刀、作業板、木工用接着剤、化学接着剤、新聞紙、共用の絵の具、画用紙 など 児童：軍手、はさみ など
評価標準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
木を削ったり身近な材料を組み合わせたたりして筆やペンをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	小刀を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、材料を削って感じたことや、試してかいた形を見たことから表したいことを見付け、用途を考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、実際に使うなどして、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで木を削ってついたり、かき心地を試したりする学習活動に取り組もうとしている。
他教科等		関連		特設ページ
		・手と道ぐ (p.34-35)		

p.38-39 ことばから思いうかべて 物語などから 4～8 ③・④				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㉞詩や物語から想像を広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。 ㉟水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までのクレヨン・パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㉞詩や物語を読んで感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㉟自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊱形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで詩や物語から想像を広げて絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
詩や物語から思い浮かべた様子や雰囲気、イメージを、試しながら少しずつ表現していくことを楽しむ子ども。		○詩や物語から思い浮かべた様子や感じた雰囲気を話し合う。 ○詩や物語から想像した様子や感じた雰囲気に合う表し方を考え、絵に表す。 ○友人と活動途中の絵を見合い互いの表し方のよさを感じ取り、それをヒントにするなどして自分なりに工夫して表す。 ○表した様子や表し方の工夫を味わいながら鑑賞する。		教師：画用紙、色画用紙 など 児童：水彩用具一式、クレヨン・パス、ペン など
評価標準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
詩や物語から想像を広げて絵に表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までのクレヨン・パス、ペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、詩や物語を読んで感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで詩や物語から想像を広げて絵に表す学習活動に取り組もうとしている。
他教科等		関連		特設ページ
国語：(3) 我が国の言語文化に関する事項 B 書くこと C 読むこと				

p.40-41 クミクミックス 行為から 2～4 ⑩・⑪				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
⑩段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 ⑪段ボールカッター、段ボールの板を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。		⑩段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 ⑪段ボールの板を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ⑫形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで段ボールの板を組み合わせでつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
平面のものでも組み合わせることで立体的なものに変化する面白さを味わったり、友人と協力することで大きいものをつくりだすことができる喜びを感じたりする子ども。		○段ボールを段ボールカッターでいろいろな形に切る。 ○切った段ボールに切込みを入れて形を組み合わせる。 ○組み合わせでできた形を見ながら、次に組み合わせたい形や場所を考え、形をつくりかえていく。 ○友人とできた形を紹介し合いながら、互いのつくった形のよさや面白さを感じ取る。		教師・児童：段ボール 教師：段ボールカッター
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
段ボールの板を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	段ボールカッター、段ボールの板を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、段ボールの板や組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、段ボールの板を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで段ボールの板を組み合わせでつくる学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
道徳：B 友情、信頼				

p.40-41 クミクミックス 行為から ⑩・⑪				
～ボール紙で～ 2～4				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
⑩ボール紙を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 ⑪ボール紙を適切に扱うとともに、前学年まではさみについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。		⑩ボール紙を組み合わせた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。 ⑪ボール紙を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ⑫形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んでボール紙を組み合わせでつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
平面のものでも組み合わせることで立体的なものに変化する面白さを味わったり、友人と協力することで大きいものをつくりだすことができる喜びを感じたりする子ども。		○ボール紙をはさみでいろいろな形に切る。 ○切ったボール紙に切込みを入れて形を組み合わせる。 ○組み合わせでできた形を見ながら、次に組み合わせたい形や場所を考え、形をつくりかえていく。 ○友人とできた形を紹介し合いながら、互いのつくった形のよさや面白さを感じ取る。		教師：ボール紙 児童：はさみ
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
ボール紙を切ったり組み合わせたりするときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	ボール紙を適切に扱うとともに、前学年まではさみについての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、ボール紙を組み合わせでできた形などを基に造形的な活動を思い付き、新しい形などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、ボール紙を組み合わせでできた形の造形的なよさや面白さ、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでボール紙を組み合わせでつくる学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
道徳：B 友情、信頼				

p.42 だんボールの形をかえて 材料や用具から 2～6 ㊦・㊧				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦ぬらした段ボールでできるいろいろな形を見付けて立体に表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ㊧ぬらした段ボールなどを適切に扱うとともに、前学年までの段ボールや絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊦段ボールの形を変えながら感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊧自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊨形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		・進んでぬらした段ボールで形をつくっていく活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
日常的に利用している素材に新たな価値を見だし、手を動かしながら試す中で形を見付け、つくりかえていくことを楽しみ追求する子ども。		○段ボールをぬらすと、形を変えられることを知り、立体的につくる活動に関心をもつ。 ○段ボールや用具を使って、試しながら形をつくっていく。 ○互いの作品を見合い、よさを味わう。		教師・児童：段ボール 教師：段ボールカッター、木工用接着剤、トレー、洗濯ばさみ、プラスチックカップ、絵の具 など 児童：はさみ
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
ぬらした段ボールでできるいろいろな形を見付けて立体に表すときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	ぬらした段ボールなどを適切に扱うとともに、前学年までの段ボールや絵の具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、段ボールの形を変えながら感じたこと、想像したことから表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んでぬらした段ボールで形をつくっていく学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		

p.43 顔を出したらなんだかワクワク 飾る・使うもの 2～4 ㊦・㊧				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦顔を出したくなるパネルをつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ㊧水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊦顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊧実際に顔を出し合って自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊨形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで顔を出したくなるパネルをつくったり使ったりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
身近な材料や用具を使い、友人や身近な人にも楽しく使ってもらうことを想像しながら、生活を豊かにするものをつくることに意欲をもつ子ども。		○顔を出したくなるパネルをつくる活動に意欲をもつ。 ○段ボールに穴を開けて顔を出したり、好きなことを思い浮かべたりながら表したいことを考える。 ○確かめながらつくる。 ○実際に顔を出し合って友人と互いの作品を見合う。		教師・児童：段ボール 教師：段ボールカッター、ローラー、木工用接着剤、画用紙や厚紙 など 児童：水彩用具一式、タブレット端末 など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
顔を出したくなるパネルをつくるときの感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	水彩絵の具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、顔を出して感じたことや想像したことから、表したいことを見付け、用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、実際に顔を出し合って自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで顔を出したくなるパネルをつくったり使ったりする学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
特別活動：（1）学級や学校における生活づくりへの参画				

p.44-45 いろいろうつつて 版に表す 4～6 絵・鑑				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
<p>㊦版の材料や形や色、写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。</p> <p>㊧版画の用具を適切に扱うとともに、前学年までのはさみ、接着剤、版にする材料などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</p>		<p>㊦材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。</p> <p>㊧自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <p>㊨形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。</p>		<p>・進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
<p>材料や版の組合せ、色などを試しながら、少しずつ思いを広げ、実現しようとする子ども。</p>		<p>○教科書の参考作品などを見て、材料や写し方、色などを工夫して版に表すことを知る。</p> <p>○材料に触れながら表したいことを考え、版をつくり、刷る。</p> <p>○刷ったものを見て、さらに刷りたしたりかき加えたりして表現を深める。</p> <p>○友人と互いの作品を見合っ、よさやいろいろな工夫を伝え合う。</p>		<p>教師・児童：新聞紙、身辺材 など</p> <p>教師：版画用紙、版画用具一式、片面波段ボール、木工用接着剤 など</p> <p>児童：クレヨン・パス、水彩用具一式、はさみ、のり など</p>
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
<p>版の材料や形や色、写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。</p>	<p>版画の用具を適切に扱うとともに、前学年までのはさみ、接着剤、版にする材料などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
関連				
他教科等		特設ページ		

p.44-45 いろいろうつつて 版に表す 絵・鑑				
～はんも生かして～ 2～4				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
<p>㊦版の材料や形や色、写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。</p> <p>㊧版画の用具を適切に扱うとともに、前学年までのはさみ、接着剤、版にする材料などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。</p>		<p>㊦材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。</p> <p>㊧自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。</p> <p>㊨形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。</p>		<p>・進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して、版も生かしながら表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。</p>
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
<p>写しては材料や版の組合せを変える試行錯誤を繰り返しながら、少しずつ思いを広げ、実現しようとする子ども。</p>		<p>○教科書の参考作品などを見て、紙の半分に版をつくり、もう半分に刷っていく表現について知る。</p> <p>○版をつくって刷る。</p> <p>○刷ったものを見て、さらに材料を貼って刷りたすなどして表現を深める。</p> <p>○友人と互いの作品を見合っ、よさやいろいろな工夫を伝え合う。</p>		<p>教師・児童：新聞紙 など</p> <p>教師：版画用紙、版画用具一式、段ボール、片面波段ボール、木工用接着剤 など</p> <p>児童：はさみ、のり など</p>
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
<p>版の材料や形や色、写し方などを工夫して表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。</p>	<p>版画の用具を適切に扱うとともに、前学年までのはさみ、接着剤、版にする材料などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、材料を組み合わせて版をつくりながら感じたこと、想像したこと、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p>	<p>形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>つくりだす喜びを味わい進んで版の材料や形や色、写し方などを工夫して、版も生かしながら表す学習活動に取り組もうとしている。</p>
関連				
他教科等		特設ページ		

p.46-47 マグネットマジック 遊ぶもの・仕組みから 4～8 ㊦・㊧				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦磁石を使って楽しく動かすものをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かる。 ㊧段ボール、磁石を適切に扱うとともに、前学年までの紙材や接着剤、切る用具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊦磁石の仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊧遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊦形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで磁石を使って楽しく動かすものをつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
他教科で学んだことを生かすことで、よりよいものをつくりだせることを実感し、楽しむ子ども。		○磁石の性質を生かした仕組みをつくり、動く様子から表したいことを考える。 ○材料を組み合わせながら、思いに合うものをつくっていく。 ○動きを試しながらつくりかえて表現を深める。 ○動かしながら友人と互いの作品のよさや面白さを感じ取る。		教師・児童：空き箱、身辺材、セロハンテープ など 教師：磁石、段ボール板、色画用紙、色紙、割り箸、たこ糸、ペン、カッターナイフ、カッターマット、木工用接着剤 など 児童：水彩用具一式、ペン、はさみ、のり など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
磁石を使って楽しく動かすものをつくる時の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かっている。	段ボール、磁石を適切に扱うとともに、前学年までの紙材や接着剤、切る用具などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、磁石の仕組みを動かして感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、遊ぶなどして自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで美術作品を見て話したり簡単な絵に表したりする学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
理科：A 物質・エネルギー (4)「磁石の性質」				

p.48-49 絵を見て話そう 美術作品 1～2 ㊧				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦絵を見て友人と話したり簡単な絵に表したりする活動を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かる。		㊧身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊦形や色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで美術作品を見て話したり簡単な絵に表したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
美術作品を見て話したり、想像したことを簡単な絵に表したのを見合ったりしながら、いろいろな感じ方や考え方に触れることを楽しむ子ども。		○美術作品と出会い、鑑賞する活動に関心をもつ。 ○美術作品を見て感じたことや考えたことを、友人と伝え合う。 ○作品の気に入った部分や、自分が想像したことを簡単な絵に表し、伝え合う。		教師：鑑賞する美術作品の大判掲示資料、モニター、画用紙 など 児童：タブレット端末、筆記用具、色鉛筆 など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想 (A表現)	鑑賞 (B鑑賞)	
絵を見て友人と話したり簡単な絵に表したりする活動を通して、形や色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどが分かっている。			形や色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで美術作品を見て話したり簡単な絵に表したりする学習活動に取り組もうとしている。
関連				
他教科等		特設ページ		
国語：A 話すこと・聞くこと B 書くこと 道徳：B 相互理解、寛容				

3・4上 題材別カリキュラム

p.50-51 ねん土マイタウン 想像したことから（粘土で） 2～4 ㊦・㊧				
題材の目標				
知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
㊦住んでみたいまちを楽しく想像し、油粘土でつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かる。 ㊧油粘土を適切に扱うとともに、前学年までの粘土べらなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。		㊦住んでみたいまちを想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。 ㊧自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。 ㊦形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもつ。		・進んで住んでみたいまちを楽しく想像し、油粘土でつくる活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。
育てたい子どもの姿 (学びに向かう力、人間性等と関連)		主な学習内容		主な材料・用具
自分の思いを大切に、友人と関わりながら、まちや未来をつくっていくことを楽しむ子ども。		○自分が行ってみたり、住んでみたいまちや、まちにあるものを思い浮かべて発表する。 ○思い浮かべた様子や試してできた形から表したいまちを考える。 ○友人と見合ったりつなげたりしながら、まちを広げていく。 ○みんなでつくったまちを見合って、よさや面白さを伝え合う。		教師・児童：油粘土、粘土板、雑巾など 児童：粘土べら など
評価規準の例				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
知識	技能	発想や構想（A表現）	鑑賞（B鑑賞）	
住んでみたいまちを楽しく想像し、油粘土でつくるときの感覚や行為を通して、形の感じ、形の組合せによる感じなどが分かっている。	油粘土を適切に扱うとともに、前学年までの粘土べらなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、住んでみたいまちを想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。	形の感じ、形の組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	つくりだす喜びを味わい進んで住んでみたいまちを楽しく想像し、油粘土でつくる学習活動に取り組もうとしている。
他教科等		関連		
社会：A 身近な地域や市区町村の様子について 道徳：B 友情、信頼		特設ページ		